

びわ湖舞台芸術スタッフセミナー報告

日時 : 平成 24 年 1 月 30 日 (月) 10 時 ~ 15 時 30 分

場所 : 滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール 大ホール

内容 : 滋賀県公立文化施設協議会主催の「びわ湖舞台芸術スタッフセミナー」にて、舞台技術課チーフ押谷と、主任技師藪内が講師として参加し、安全管理の取り組み等の講義・意見交換を行った。参加者は、滋賀県内公立文化施設の職員および舞台担当者の約 40 名。
その内容については、次の通り。

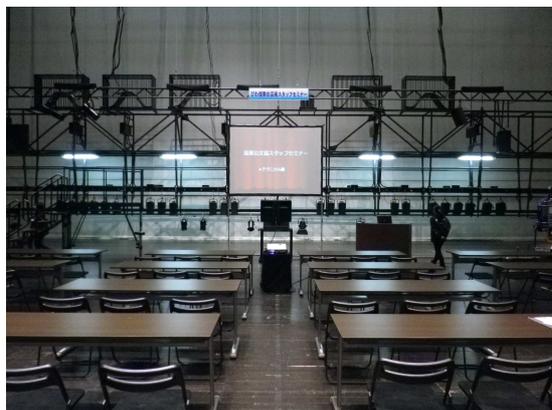
□午前の部

第 1 部 「安全管理への取り組み」 講師 : 押谷 征仁 (びわ湖ホール舞台技術課 チーフ)

舞台での安全管理・危険個所対策について、舞台事故事例を踏まえつつ、約 1 時間の講義を行った。びわ湖ホールで行っている安全対策について、具体的な作業実演も行った。

主な内容としては、前提として劇場のバランスが保たれていることが重要とのこと。バランスとは、劇場の規模・運営内容・人材 (専門知識・人数) のバランスが保たれていること。また、貸館事業においても、カンパニースタッフ (公演スタッフ) と劇場技術管理者 (管理スタッフ) を分けて対応することで、責任の所在を明確にして安全を確保すると共に、クオリティーの高い公演を行うことが出来る運営方法を含め、大変参考となる講義内容であった。

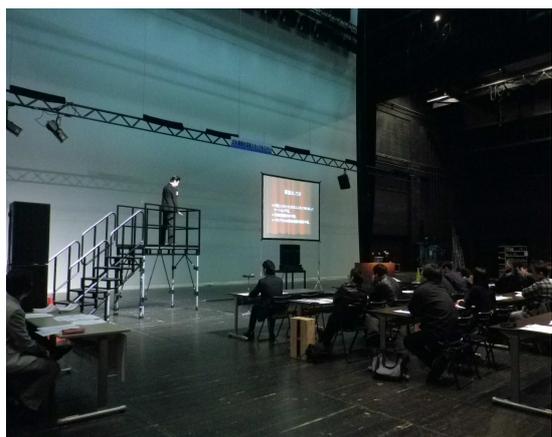
会 場 風 景



講 義 風 景



舞 台 裏 等 の 足 場 に つ い て



重 量 物 吊 り 込 み に つ い て

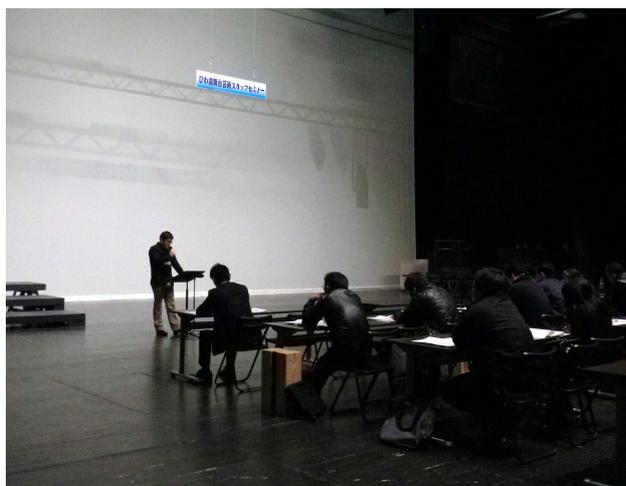


第2部 「ひな段の安全性について」(安全管理の工夫～安全とエコ)

講師：藪内 暖（びわ湖ホール舞台技術課 主任技師）

第2部は、各公立文化施設で行っているひな段組みについて実際の作業方法を検証しながら安全に対する取り組みについて意見交換し、びわ湖ホールで考案・製作した「システム木台」「システム箱馬」「システム落ち止め」などの再利用可能で特別な技術を要さないシステムシリーズでのひな段の設営を実演し、参加者の意見やアドバイスをもらいながら技術交流を行った。またびわ湖ホールで使用している安全グッズ・便利用品・製作物なども展示し、参加者の好評を得ていた。

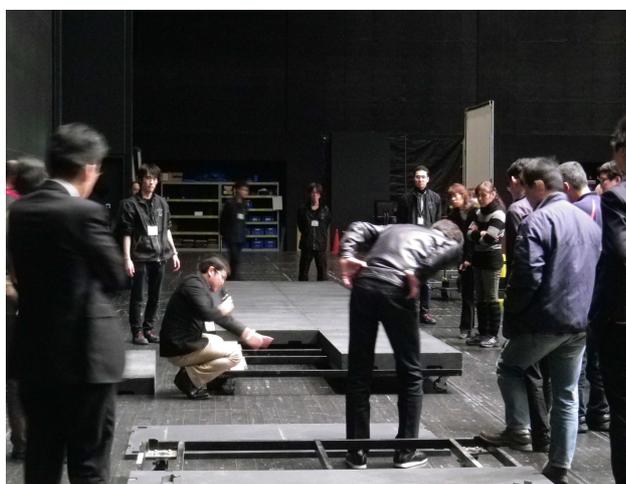
講義風景



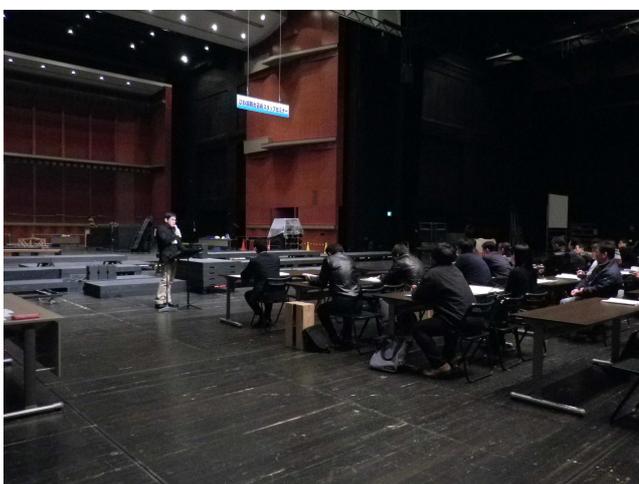
ひな段実演



引き枠台車紹介



びわ湖ホールでの工夫の紹介



□午後の部（実技）

「システム箱馬・システム落ち止め製作」 講師：藪内 暖（びわ湖ホール舞台技術課 主任技師）

びわ湖ホールで考案・製作した「システム箱馬・システム落ち止め」の構造の説明とそれらを使用したひな段の設営を行い、今後各施設でも取り組める安全・確実・安心でエコな方法について講義を行った。その後各施設から持ち込んだ箱馬を改良する作業と方向性のアドバイスなどを行い、滋賀県公立文化施設の安全に対する意識の向上に大きな影響を与えた。

システム箱馬紹介



意見交換



システム落ち止め紹介



製作作業



感想

県内の他の公立文化施設の職員と、普段の催事における安全対策の実際について意見交換ができたことは大変有意義であり、今後の催し（自主事業・貸館事業問わず）に取り組んでいく参考となった。

施設によって状況が様々であるため、一様の安全管理方法ではうまくいかないところもあるだろうが、県内の施設が意見交換し、協力してやっていけることもあるだろうという意見もあった。

びわ湖ホールで取り組んでいる安全対策について、より良くなるように考えるいい機会となった。